

海鳴社の新刊本

帳合	海鳴社 保江邦夫著 ISBN978-4-87525-358-7
	合気五輪書 (上)
冊	【委託】 46 判並製 199 頁 本体 1800 円

古くは剣聖・宮本武蔵の「五輪書」に書かれていた奥義「うつらかし」。

それは、「相手の心を自分の心に合わせせる」ことであるという。

一見して不可能であるが、これをどうやって実現するか。
その鍵は偉大なる先人たちが異口同音に残した以下の言葉にある。

「宇宙天地森羅万象の調和が合気」

(大東流合気武術第 36 第宗家 佐川幸義)

「合気は愛じゃ」

(合気道開祖 植芝盛平)

「自分を殺しにきた敵と友達になることが合気道の真髓」

(合気道養神館館長 塩田剛三)

「汝の敵を愛せよ」

(イエス・キリスト)

FAX:03-3234-3643



～～ 目次 ～～

- 地の巻 体の間術と物理学…
- 間術とは何か
- 空間と剛体力学
- 外力と内力
- 透明な力による体の合気
- 体の合気と骨法
- 水の巻 意識の間術と精神物理学
- 精神物理学とは何か
- 意識による空間の拡がり
- 催眠術と脳幹網様体
- 意識の合気とうつらかし
- 赤心による精神の間術
- 火の巻 心の問法と唯心論物理学
- 唯心論物理学とは何か
- 心が創る世界
- 量子物理学と波動関数
- 赤心による心の問法
- 合気の理合と術理

合気五輪書 (上)

—— 武道格闘技の最終奥義を物理学で極める ——

保江 邦夫 著

12月8日までにお返事下さい。